

文芸とうかい

【俳句】

干し柿を吊るす笑顔で空を観る

外宿 井坂 正一

ウォーキング銀杏並木を自撮りして

豊白 東海林笑湖

奉仕の日鎮守の森に鶉高音

船場 庭田紀久子

食用菊妻の使いのおすそ分け

村松北 小野寺紀夫

五人いて二人となりし炬燵かな

駅東 中原 正子

淑氣満つ箸並べたへ三世代

緑ヶ丘 内田 芳勲

ガザの子のいのちの重さ冬母

豊白 小林 久男

しぐるるや青し青しと写経の灯

村松 大内たけみつ

寄せ鍋の次の昼食卵入り

村松 堀木 純子

【短歌】

冬の海騒人墨客人の影

季節の香り心地良いもの

白方中央 寺島 功夫

大相撲ひいきの力士奮闘し

勝負が決まればホッと息つく

外宿 小林美代子

ラケットを握りし夫はハッラツと

はじける笑顔眩しき日々

村松北 沼田 久子

歩く会四キロコース挑戦し

去年歩けた今年ばてたよ

白方 佐藤 操

パイヤにさわりて見ればしめりおり

気温は三度霜降の朝

外宿 井坂 愛子

木枯らしが吹き下ろす中墓参り

義姉の一周忌面影偲びて

照沼 佐藤 昇

紅葉狩これが最後かとありがとう

絶景の地に別れを告げたり

船場 根本 ちる

猛暑過ぎ秋半分で初霜に

季節の移りの常ならざるをみる

白方中央 鈴木 忠和

元日や令和八年よき年と

世界の平和健康祈る

白方中央 海老根ヨシ

歩きたい赤茶の林枯れ葉ふむ

ときめきの大地少年期に

豊白 梅津 秀雄

姑なりの悲しみ有らん今にして

思い至るる膝痛む夜は

緑ヶ丘 福地美智子

ファミレスのお運びロボットスイスイと

ぶつかりもせずすれ違いおり

駅西 大貫はるみ

わらくずを燃やす煙のなびきいて

緑豊けし吾が住む村は

須和間 柴山 靖子

STATION GALLERY

場 所 ▼ JR東海駅(ギャラリーA…駅舎2階、ギャラリーB…駅舎1階)※①～③はギャラリーA、④はギャラリーA・Bで開催します。

問い合わせ ▼ 東海駅コミュニティ施設管理室(☎287-3680)

【東海ステーションギャラリー開放事業】

東海ステーションギャラリーでは、村内在住・在学の中学生、県内在住・在学の高校生以上の学生を対象に、活動発表の場として施設を開放しています。

①「人のかたち —3つの視点— (茨城大学教育学部美術科・筑波大学大学院芸術系グループ展)」

「人」をテーマに制作に取り組む、茨城大学出身の3人による展覧会です。それぞれが、自分や他人、社会に対する見方や考え方を表現しています。同年代でありながら、異なる個性を生かした作品の数々をお楽しみください。

期間 ▼ 1月18日(日)～24日(土)

時間 ▼ 午前10時から午後6時(最終日は午後3時)まで



②「茨城県立水戸第一高等学校美術部作品展」

油彩画を中心に、水彩画やデッサン作品、部員が一丸となって取り組んだ共同制作作品を展示します。日頃の活動の成果をご覧ください。

期間 ▼ 1月25日(日)～31日(土)

時間 ▼ 午前11時から午後6時(最終日は午後2時)まで



③「千福万来展」

武蔵野美術大学に在学中の飯尾琴音さんによる個展です。制作の中心となる油絵のほか、アクリル画、版画、木炭画など、さまざまな表現方法の作品を展示します。特に油絵は、絵の具を盛り上げた半立体的な表現により、画面から飛び出すような迫力ある作品が見どころです。

期間 ▼ 2月1日(日)～7日(土)

時間 ▼ 午前10時(初日は午前11時)から午後6時(最終日は午後2時)まで



④第38回「アートロード東海ステーションギャラリー展」

「暮らしの中の美術館」をテーマに、芸術の街「アートロード」づくりを目指す美術愛好家たちが、村内の協賛店や公共施設で作品を展示します。村内を拠点に活動する会員約50人の作品をぜひご覧ください。

期間 ▼ 2月8日(日)～14日(土)

時間 ▼ 午前10時から午後5時(最終日は午後3時)まで

